

小金井市長期計画審議会（第3回）次第

日時 平成27年5月25日（月）18時から

場所 商工会館 3階 萌え木ホール A会議室

【次第】

- 1 起草委員会の審議状況の結果について （18：00～18：20）30分
（資料12：分野別起草委員会意見メモ）
- 2 後期基本計画（素案）《計画の推進分野》（前半）について （18：20～19：40）70分
（資料13：施策検討シート 《計画の推進分野》 ）
- 3 市民懇談会テーマ（案）について （19：40～19：55）15分
（資料14：市民懇談会テーマ（案））
- 4 その他 （19：55～20：00）5分

小金井市長期計画審議会
配付資料一覧

	No.	資料名	備考
第3回 (5月25日)	12	分野別起草委員会意見メモ	【当日配布】
	13	施策検討シート《計画の推進分野》	【事前配布】
	14	市民懇談会テーマ（案）	【当日配布】

第1・2回起草委員会 意見メモ 《環境と都市基盤》

資料12 【環境と都市基盤】

施策番号： 1 施策名： みどりを育む仕組みづくり

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	みどりの定義づけを明確にし、量より質を重視する観点を盛り込むべきではないか（施策分野共通事項）。	
1	施策の現況と課題	施策の現況と課題の欄で「それを維持管理していくことも」という文言があるが、この表現だと市民ボランティアを管理するような表現に感じるため、修正が必要ではないか。	
1	施策の現況と課題	公園利用実態調査を実施するだけでなく、より大きな観点からのみどりに関する意識調査など質的な観点からも検討すべきではないか。	
1	施策の現況と課題	仕組みづくりという表現が、曖昧である。過去は、コミュニティで管理していた経緯もあり、そのような表現が必要なのではないか。	
1	施策の現況と課題	ボランティアを育成するという観点がなく、みどりを育む仕組みづくりに組み込むべきである。	
2	施策の方向性	真にみどり豊かなまちづくりという観点を含めるべきである（施策分野共通事項）。	
2	施策の方向性	みどりの質に対する表現を取り入れるべきであり、量的な数値目標を改めるべきである。 「量から質へ」の観点を含めるべきである（施策分野共通事項）。	再掲

施策番号： 2 施策名： みどりの保全

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	みどりの定義づけを明確にすべきではないか（施策分野共通事項）。	
1	施策の現況と課題	みどりの質に対する表現を取り入れるべきであり、量的な数値目標を改めるべきである。 「量から質へ」の観点を含めるべきである（施策分野共通事項）。	
2	施策の方向性	真にみどり豊かなまちづくりという観点を含めるべきである（施策分野共通事項）。	
2	施策の方向性	みどりの質に対する表現を取り入れるべきであり、量的な数値目標を改めるべきである。 「量から質へ」の観点を含めるべきである（施策分野共通事項）。	再掲

施策番号： 3 施策名： みどりの創出

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	みどりの定義づけを明確にすべきではないか（施策分野共通事項）。	
1	施策の現況と課題	みどりの質に対する表現を取り入れるべきであり、量的な数値目標を改めるべきである。 「量から質へ」の観点を含めるべきである（施策分野共通事項）。	
1	施策の現況と課題	生物多様性を守りながら、サステナブルなみどりを創出するというキーワードを含めてはどうか。	
2	施策の方向性	真にみどり豊かなまちづくりという観点を含めるべきである（施策分野共通事項）。	

2	施策の方向性	施策の方向性で「…みどりの創出を推進します。」を「…みどりと豊かな生態系の創出を推進します。」という文言にしてください。	
2	施策の方向性	みどりの質に対する表現を取り入れるべきであり、量的な数値目標を改めるべきである。「量から質へ」の観点を含めるべきである（施策分野共通事項）。	再掲
2	施策の方向性	生物多様性を守りながら、サステナブルなみどりを創出するというキーワードを含めてはどうか。	再掲

施策番号： 4 施策名： 水辺の拡大

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	近隣の地方公共団体との協働が必要であり、その表現を含めるべきである。	
1	施策の現況と課題	「施策名」と「施策の現況と課題」「施策の方向性」の文言とが整合していないのではないか。	
2	施策の方向性	「施策名」と「施策の現況と課題」「施策の方向性」の文言とが整合していないのではないか。	再掲

施策番号： 5 施策名： 循環型社会の形成

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	取組で一般的な循環型社会に関する記載があるにも関わらず、施策の現況と課題ではごみ減量についての記載割合が高く、バランスをとるべきではないか。	
2	施策の方向性	小金井型の「循環型社会」を明確にすべきではないか（市としてはリデュースを重視している旨など）。	再掲

施策番号： 6 施策名： ごみの処理

該当箇所		意見内容	備考

施策番号： 7 施策名： まちの美化

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	市民が分かりやすいように、環境教育について「文化と教育」の項目だけでなく、当施策でも記載してはどうか。	
1	施策の現況と課題	まちの美化に関するコミュニティづくりの観点も追加してはどうか。	

施策番号： 8 施策名： 環境にやさしい仕組みづくり

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「施策の現況と課題」の「小金井らしい創造的な環境保全活動」とあるが、何が小金井らしいのかが分からず、具体的に示してはどうか。示すことができれば、小金井としての強みになるのではないか。	
1	施策の現況と課題	都市計画マスタープランは住環境に限るものではないため、施策番号8や9にも追加して、地球にやさしいまちづくりを意識した表現にしてはどうか（施策分野共通事項）。	

施策番号： 9 施策名： 地球環境への負荷の軽減

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	環境対策に関して、市が率先して取り組んでいることを「施策の現況と課題」に追加してはどうか。	
1	施策の現況と課題	都市計画マスタープランは住環境に限るものではないため、施策番号8や9にも追加して、地球にやさしいまちづくりを意識した表現にしてはどうか（施策分野共通事項）。	

施策番号： 10 施策名： 公害発生防止体制の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	PM2.5、放射能対策に関する取組についての記載を実態に合わせて追加してはどうか（監視体制を整え継続しているなど）。	

施策番号： 11 施策名： 魅力的な市街地

該当箇所		意見内容	備考

施策番号： 12 施策名： まちの顔となる駅周辺の整備

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	駅＝人が集う所という表現を加えて、ハード整備だけでなく、ソフト事業により駅周辺を活性化させるという観点を追加してはどうか。	
2	施策の方向性	駅＝人が集う所という表現を加えて、ハード整備だけでなく、ソフト事業により駅周辺を活性化させるという観点を追加してはどうか。	再掲

施策番号： 13 施策名： 快適な住環境の整備

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「快適な住環境の整備」であるため、環境対策の視点を加えてはどうか（施策番号8,9は環境対策に関して、大きな視点）。	

施策番号： 14 施策名： 安全で良質な住環境の整備

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「安全」の観点では、防犯も重要であり、現状の記載では、防犯に関する内容が少なく、充実させてはどうか。	
1	施策の現況と課題	歩行者にやさしい道路整備・歩車共生の観点を追加してはどうか（施策番号16, 17にも関連）。	
1	施策の現況と課題	電線の地中化に関しても追加してはどうか（施策番号17にも関連）。	
2	施策の方向性	「安全」の観点では、防犯も重要であり、現状の記載では、防犯に関する内容が少なく、充実させてはどうか。	再掲

施策番号： 15 施策名： 下水道の維持管理

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 16 施策名： 道路の整備

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「施策の方向性」において橋梁に関する記載があるため、「施策の現況と課題」に橋梁に関する現況と課題について、充実させてはどうか。	

施策番号： 17 施策名： 人にやさしい交通環境の整備

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 18 施策名： 公共交通機関の整備

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 19 施策名： 河川などの整備

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「施策の現況と課題」の「自然環境の過度の攪乱と衰退がもたらされる」という文言が分かりにくく、分かりやすい表現にしてはどうか。 表現の確認が必要である。	
2	施策の方向性	「施策の方向性」で玉川上水の記載がない。野川、仙川、玉川上水の3つの河川名を出してはどうか。もしくは、具体的な河川名を削除し、河川名はそれぞれの河川に対する取組で記載してはどうか。	

第1・2回起草委員会 意見メモ 《地域と経済》

資料12 【地域と経済】

施策番号： 20 施策名： 協働のまちづくりの推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	他のグループの団体同士が実際に顔をあわせるような交流の場が必要ではないか。商店会について、他のグループとのネットワークに幅広く加えた方がいいのではないかと（施策分野共通事項）。	
1	施策の現況と課題	協働の理念がわかりにくい。発案者は市民で、行政はそのサポートをすることが協働ではないか。参加者の主体性を大事にすることなどにも触れてはどうか。	
1	施策の現況と課題	交流という表現より「ふれあい」など、やわらかい表現ではどうだろうか。	

施策番号： 21 施策名： 地域情報ネットワークの推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	他のグループの団体同士が実際に顔をあわせるような交流の場が必要ではないか。商店会について、他のグループとのネットワークに幅広く加えた方がいいのではないかと（施策分野共通事項）。	
3	施策の方向性	「人々のきつなや地域の連携のための基盤づくり」という部分は目的のため、文章の先頭にもってきてはどうか。	

施策番号： 22 施策名： 危機管理体制の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「放射能に関する測定」の意味がわからない。	

施策番号： 23 施策名： 防災コミュニティづくり

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	課題として「また、結成されている……」以降の内容がより重要であり、強調すべきではないか。	
1	施策の現況と課題	防災コミュニティ形成の対象が町内会や自治会が対象となっているが、商店会なども幅広く対象に入れた体制（備蓄、防災倉庫）を構築すべきではないか。	

施策番号： 24 施策名： 防災機能の強化

該当箇所		意見内容	備考

施策番号： 25 施策名： 防犯体制の強化

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「こきんちゃんあいさつ運動」がよい活動であるため、より強気に推進してほしい。地域でもお互いに顔が見えることが重要であり、「こきんちゃんあいさつ運動」を発展させ、学校外でも推進できる体制を構築すべきである。それには商店会の役割が重要であるが、防犯体制に含まれていないことが問題であり、商店会を幅広く活用する体制を構築すべきではないか。	
1	施策の現況と課題	防犯の観点では、空き家対策が重要である。	

施策番号： 26 施策名： 産業基盤の整備

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	市の財政状況が厳しいなかで、金はないがアイデアを出して振興を図るというニュアンスに変えられないか。	

施策番号： 27 施策名： 創造的産業の支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	家賃補助の成果や効果の部分までも触れてはどうか。	

施策番号： 28 施策名： 商業環境の整備

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	産業振興プランを反映させた内容にしてほしい。	
1	施策の現況と課題	市としての各地域の商業環境の整備に関する方向性を示してほしい。 市民目線として、駅前商業環境だけでなく、各地域の商店街も重要であることを再認識している。	
1	施策の現況と課題	商業調査や市民から広く意見聴取を実施し、その結果を商店会にも還元してほしい。	
2	施策の方向性	産業振興プランを反映させた内容にしてほしい。	再掲
2	施策の方向性	市としての各地域の商業環境の整備に関する方向性を示してほしい。 市民目線として、駅前商業環境だけでなく、各地域の商店街も重要であることを再認識している。	再掲

施策番号： 29 施策名： 地域資源をいかした観光の推進

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 30 施策名： 工業の振興

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	小金井らしい工業（例：企画開発設計、デザインや精密機器など）について、一から見直した方がいいのではないか。	
2	施策の方向性	施策の方向性に記載のとおり「産学官連携の取組や、関係団体との連携」が重要である。	
2	施策の方向性	小金井らしい工業（例：企画開発設計、デザインや精密機器など）について、一から見直した方がいいのではないか。	再掲

施策番号： 31 施策名： 農業基盤の確立

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 32 施策名： 農業との交流推進

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 33 施策名： 安全安心な消費生活支援

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 34 施策名： 勤労者福祉の向上

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 35 施策名： 雇用機会の拡大

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

第3回小金井市長期計画審議会資料

第1・2回起草委員会 意見メモ 《文化と教育》

資料12【文化と教育】

施策番号： 36 施策名： 総合的な文化振興の推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「総合的」（具体的な言葉（美術以外の音楽など）も含めて）な文化振興という内容が分かる記載に修正してはどうか。 江戸・東京野菜の食文化も追加してはどうか。	

施策番号： 37 施策名： 文化施設の効率運営

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「周辺自治体との相互利用」は効率運営にかかわる部分なので、これが進んでいないのは課題ではないか。	
1	施策の現況と課題	広場を有効活用できている。まつりや商店街での夜店の開催などは、良い点ではないか。	
1	施策の現況と課題	（記載の内容全般）どの公共施設を対象とした記載内容であるかが不明確である。	
2	施策の方向性	施策名の「文化施設の効率運営」は修正すべきではないか。「効率」のみに言及しており「質」の観点が欠けているように	
2	施策の方向性	（記載の内容全般）どの公共施設を対象とした記載内容であるかが不明確である。	再掲

施策番号： 38 施策名： 文化交流の推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	他の自治体との積極的な都市間交流を進めているのであれば、記載すべきではないか。	

施策番号： 39 施策名： 人権・平和に関する施策の推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	市内・近隣市の戦争の史跡に光を当てるべきではないか。	

施策番号： 40 施策名： 男女共同参画の推進

該当箇所		意見内容	備考

施策番号： 41 施策名： 活動の場の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	市民を交えての中央図書館の整備の検討はなされていないため、課題ではないか。	

施策番号： 42 施策名： 生涯学習活動の推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	小金井市には大学、高校があり若者が多いイメージがある。生涯学習の中でも相互教育活動（高校生が小学生に勉強を教える、中高生が高齢者にスマホの使い方を教えるなど）ができるような仕組みがないのであれば、それを課題として含めるべきではないか。	
1	施策の現況と課題	放課後子ども教室の担い手（コーディネーター等）に対する研修が行われていないのであれば、それを課題として含めるべきではないか。	

施策番号： 43 施策名： スポーツ・レクリエーション活動の支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	チャレンジデーを実施したが、さらにその取組を発展させることができていないことを課題として追加してはどうか。	
1	施策の現況と課題	「指導者の育成」の内容が分かりにくい。	
1	施策の現況と課題	スポーツ交流が行われていないことを課題として追加してはどうか。	

施策番号： 44 施策名： スポーツ・レクリエーション施設の活用

該当箇所		意見内容	備考
------	--	------	----

施策番号： 45 施策名： 教育内容・教育方法の充実

該当箇所		意見内容	備考
2	施策の方向性	小金井市独自の教育として、定着化を述べているが、得意分野を伸ばすという視点も加えてはどうか。	

施策番号： 46 施策名： 学習環境の整備・充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	学校へのかかわりが薄い方との関係性の構築が課題ではないか。	
1	施策の現況と課題	タブレットなど、ICTに関する教育環境は進んでいる。ICT教育というキーワードがあるので、「パソコン教室等」という文言を削除してはどうか。	

施策番号： 47 施策名： 幼児教育の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	国の制度の変更等はあるが、女性の社会参加を視野に入れ、保育分野と歩調を合わせた書き方にする必要がある。	

第1・2回起草委員会 意見メモ 《福祉と健康》

資料12 【福祉と健康】

施策番号： 48 施策名： 地域福祉の推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	福祉会館の建設について、現状どのようになっているのかを公表できる範囲で記載を追加してはどうか。十分な住民説明が必要である。	
1	施策の現況と課題	現状の記載だと、福祉の対象となっている人が高齢者と障がい者に特化しているように感じる。市民全体を対象とする「地域福祉の推進」とする記載に修正すべきである（例えば、子育て・子育ての観点が全く含まれていないように感じる）。	
1	施策の現況と課題	社会福祉協議会だけの記載となっているが、市民協働が謳われているなか、NPO法人など複数の団体・市民との連携についての記載を追加してはどうか。	
1	施策の現況と課題	市民同士のネットワークを強くしていくという視点を追加してはどうか。	
1	施策の現況と課題	生活満足度・こころの豊かさの向上という観点が必要であり、そのキーワードを使用してはどうか。	
2	施策の方向性	生活満足度・こころの豊かさの向上という観点が必要であり、そのキーワードを使用してはどうか。	再掲
2	施策の方向性	施策名が「地域福祉の推進」となっているにもかかわらず、「（仮称）新福祉会館」の建設自体が施策の方向性の前半を占めていることに違和感を感じる。福祉会館は重要であるが、福祉会館がなくても地域福祉の推進ができるものであるため、その建設自体が目指す姿とするのはいかなるものか。	

施策番号： 49 施策名： 低所得者・生活困窮者等福祉の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	生きがいを持って働くことができる仕組みづくりが必要であり、その視点がないのではないか。	
1	施策の現況と課題	低所得者・生活困窮者になる前に手助けをできる仕組みづくり（その人が必要とする情報提供や助言をコーディネートするなど）が必要であり、その視点がないのではないか。	
1	施策の現況と課題	平成27年度より生活困窮者自立支援法に沿った取組を実施しているとのことであるが、その周知が十分ではないのではないかと。情報が必要な人に伝わるのが重要であり、行政において必要な情報を伝達するための手段が必要である（民生委員だけでなく他のネットワークも必要ではないか）。	

施策番号： 50 施策名： 高齢者の活躍の場づくり

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	高齢者の活躍の場づくりという施策名であるにもかかわらず、「シルバー人材センター事業を支援する」と固有名詞が出てきて、シルバー人材センターのみで活動できる場と機会の充実に努めてきたような印象を読み手に与える。課題として、経験やスキルのある高齢者の活躍の場がつけられるような仕組みづくり（マッチング）が必要であり、例えばシルバー人材センターに限らず、ボランティアなども活用できるような仕組みづくりが必要な旨の記載にしてはどうか。	

施策番号： 51 施策名： 高齢者の生活支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	老老介護のような介護をする側の高齢者に対する文言がないのではないか（施策番号53は介護保険の枠組みであり、高齢者を介護する家族に対する支援は当施策で記載をしてはどうか）。	
1	施策の現況と課題	元気な高齢者も含む全ての高齢者を対象とした生活満足度・こころの豊かさを感じていけるような視点が不足しているのではないか。	
1	施策の現況と課題	認知症高齢者が地域で自活できる仕組みづくりが必要であり、その視点が不足しているのではないか。	

施策番号： 52 施策名： 介護予防事業の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「介護予防の取組を一層強化する必要があります。」との表現であるが、市民目線としては堅い印象があり、参加しやすい表現に修正してはどうか。	
2	施策の方向性	参加しやすいコミュニティづくりが必要であり、その視点を追加してはどうか。	

施策番号： 53 施策名： 介護保険事業の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「介護している家族支援も充実していく必要があります。」とあるが、表現が弱いのではないかと。例えば、「介護している家族支援も一層強化していく必要があります。」としてはどうか。	
1	施策の現況と課題	介護する側のサロンなど集まる場が必要であり、その視点を追加してはどうか。	

施策番号： 54 施策名： 子育て支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	親が安心して子育てできる環境の整備が、乳幼児の時期と子育てには重要であり、その視点の記載が必要ではないか。	
1	施策の現況と課題	学童期の子どもが安心・安全に学べる・遊べる場の提供を保障すべきであり、その記載を追加すべきである。行政だけでなく、地域の団体・市民との連携も必要であり、その記載も追加すべきである。	
1	施策の現況と課題	地域ごとに子育て側のサロンなど集まる場を提供することが必要であり、その視点を追加してはどうか。	
1	施策の現況と課題	医療行為が必要な障がい児童の行き場がない（児童発達支援センターからも漏れる）という現状があり、全ての子どもを対象した子育て支援の観点が必要ではないか。子どものノーマライゼーションの観点が必要ではないか（健常児のみが対象となっているような記載になっている）。	

施策番号： 55 施策名： 子育て家庭の支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	「施策の方向性」では「全ての子どもや子育て家庭を対象」となっているが、「施策の現況と課題」では全ての子育て家庭を支援対象とした記載になっていないのではないかと（待機児童と学童保育に絞られている）。	

1	施策の現況と課題	中高生の子育て家庭が対象となっていないような記載となっており、中高生を含めた表現にすべきではないか。 「施策の方向性」の「発達段階に応じた」という文言を「それぞれの育ちに応じた」という文言にしてはどうか。	
1	施策の現況と課題	小金井市では保健師がケアできない家庭については、水際で虐待を防ぐような行政との協働の仕組みづくりができてなく、その記載を追加すべきではないか。	
1	施策の現況と課題	保育について、供給の量だけでなく、発達段階に応じた保育の質を保障することが重要であり、その観点の記載が不足している。	
2	施策の方向性	中高生の子育て家庭が対象となっていないような記載となっており、中高生を含めた表現にすべきではないか。 「施策の方向性」の「発達段階に応じた」という文言を「それぞれの育ちに応じた」という文言にしてはどうか。	再掲

施策番号： 56 施策名： 地域の子育ち・子育て環境の充実

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	関係機関という表現が対象が限定されているように感じる。	
1	施策の現況と課題	「小金井子育て、子育て支援ネットワーク協議会」が設立されたものの、市の参加がなく、実態として市と市民との協働となっており、その旨を課題に記載すべきである。	
2	施策の方向性	「広く地域の支援が届くシステムづくりに取り組んでいきます。」となっているが、「支援を必要としている人に地域として必要な支援を確実に届けます。」と修正してはどうか。	

施策番号： 57 施策名： ノーマライゼーションの推進

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	施策名が「ノーマライゼーションの推進」となっているが、就労支援に記載が偏っている。障がい者と共に生きるというような意識啓発が必要であり、地域としてのノーマライゼーションの推進についても記載を追加してはどうか。	

施策番号： 58 施策名： 日常生活の支援

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	権利擁護に関する取組について、記載を追加してはどうか。	

施策番号： 59 施策名： 医療との連携

該当箇所		意見内容	備考
1	施策の現況と課題	障がい者やその家族に対する相談について、サロンなど集まる場が地域ごとに必要であり、その記載が不足しているのではないかと（障がい者福祉の中で、家族に対するケアの体制が必要である）。	

施策番号： 60 施策名： 保健活動の充実

該当箇所		意見内容	備考

施策番号： 61 施策名： 医療体制の充実

該当箇所		意見内容	備考

施策番号： 62 施策名： 医療保障制度の充実

該当箇所		意見内容	備考

前期基本計画と後期基本計画(素案)の施策新旧対照表

資料13

後期基本計画（素案）において変更した施策については、備考に理由を付記しています。

<計画の推進>

【前期基本計画】				【後期基本計画(素案)】			
施策分野	前期番号	施策名	※	施策分野	後期番号	施策名	備考
市民参加・市民協働	72	市民ニーズの把握と共有化	○	市民参加・市民協働	63	市民ニーズの把握と共有化	
	73	わかりやすい情報発信と適正な情報管理			64	わかりやすい情報発信と適正な情報管理	
	74	市民参加の推進	○		65	市民参加の推進	
	75	市民協働の推進	○		66	市民協働の推進	
行政経営	76	更なる行財政改革の推進		行政経営	67	自律した行政経営の推進	保留
	77	組織の活性化と人材の育成・活用			68	組織の活性化と人材の育成・活用	
	78	自律した行政経営の推進				(施策67と統合)	※ 第3次行財政改革大綱の終了に伴い、新たな行財政改革大綱を策定するため施策の統合を図った。
計画的行政	79	計画とマネジメントの整備	○	計画的行政	69	計画とマネジメントの整備	
	80	広域行政の推進			70	広域行政の推進	
財政・財務	81	安定した財政運営の確立		財政・財務	71	安定した財政運営の確立	
	82	歳入の安定			72	歳入の安定	
	83	歳出の適正化			73	歳出の適正化	



5月25日第3回審議会は、前半施策NO.63～68までの予定
6月25日第4回審議会は、後半施策NO.69～73までの予定

施策分野	市民参加・市民協働
------	-----------

1. 施策名

No.	63	市民ニーズの把握と共有化	
-----	----	--------------	--

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するための課題があるか)

市では、計画策定等施策の実施に際して多様な市民のニーズを的確に把握するため、必要に応じ、市民意向調査等を実施しています。また、「市長へのEメール」や「市民の声」「市長へのファクス」などにより日常の市政に対する意見や要望を把握し、データベース化しています。

市民の価値観が多様化、複雑化していく中で、市民ニーズの的確な把握と共有化を図るため、様々な機会や情報手段を活用し、より効果的な方法を検討していく必要があります。

3. 施策の方向性(目指す姿)

市民意向調査・広聴活動の充実などによる市民ニーズの的確な把握を市政運営の起点とします。

また、市民からの意見・要望に対する情報を共有化することにより、より一層の施策への反映を図るとともに、各窓口等での市民へのきめ細かな対応に努めます。

6.進めていく主な取組

取組名 ① 市民意向調査の充実

・施策に反映させるため、分野ごとに多様な市民ニーズを的確に把握し、各種市民意向調査や市長への手紙を必要に応じて実施して、共有化を図ります。

取組名 ② 広聴活動の充実

日常の業務にいかすため、各種相談などの広聴活動を充実するとともに、市長へのEメール・ファクス等で寄せられる幅広い市民からの意見・要望を把握し、共有化を図ります。

施策分野	市民参加・市民協働
------	-----------

1. 施策名

No.	64	分かりやすい情報発信と適正な情報管理
-----	----	--------------------

2. 施策の現況と課題
(施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

私たちの住む小金井市では、平成12年度に市ホームページを開設し、月2回発行している市報の紙面を平成19年度から12面に充実し、また市内に約100か所の掲示板を設置するなど、情報発信に努めてきました。

また、市ホームページをご覧になれる方に対し、アクセシビリティの向上、地図情報の更改をし、より利便性の向上に努め、更に開かれた市政を充実するため、個人情報保護制度の適正な管理の基に市報や市ホームページにより情報公開制度の周知に努めてきました。

一方、ここ数年でのスマートフォンなどの急速な普及に伴い、ソーシャル・ネットワーク・サービスなどが発展し、情報発信の精度・即時性がより求められるようになっているとともに、国のICT政策と一体となって推進されている社会保障・税番号制度についても着実に対応することが重要となっけていきています。

こうしたことから、今後の国のICT化の動向及び技術的状況を注視しつつ、長期的な視点から市民サービス向上を果たせるよう、システム等の整備に取組む必要があります。

また、市ホームページについてもリニューアルの検討や、専門的な知識を有さない職員でも管理が行えるような体制づくりなどの課題を早急に解決する必要があります。

3. 施策の方向性(目指す姿)

広報活動の充実により分かりやすい情報発信を進めます。

情報公開制度の更なる充実により市民への説明責任を果たすとともに、個人情報保護制度の適切な運用と堅実な情報管理に努めます。

市民サービスの向上及び行政運営の効率化を図るため、社会保障・税番号制度の着実な運用に努めます。

様々な情報端末に対応できるよう、市ホームページの利用範囲の拡充に努め、また、公開しているデータを利活用できるようオープンデータ化を進めます。

6.進めていく主な取組

取組名 ①	広報活動の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・市政情報を迅速かつ的確に提供するため、市報や市ホームページなどの更なる充実を図るとともに、状況に応じた各種媒体の活用を推進します。 ・市民とともにイメージキャラクターを活用し、市のイメージアップを図ります。 	

取組名 ②	情報公開の推進と個人情報の適正な管理
<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による開かれた市政を一層推進するため、市民との共有財産である市政情報を市民が主体的に利用できるよう、情報公開制度の更なる充実により、市民にとって分かりやすい市政情報の適時・適確な提供に努めます。また、制度の適正な運用に資するため、職員研修などの充実も図っていきます。 ・公正で信頼される市政の推進のため、個人情報の濫用やプライバシーの侵害を防ぐなど、個人情報の保護に努めます。 	

施策分野	市民参加・市民協働
------	-----------

1. 施策名	
No.	65 市民参加の推進

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)
<p>私たちの住む小金井市では、市民本位の市政運営を円滑に進めることを目的に、平成15年に市民参加条例を制定し、市民参加の推進を図っています。平成21年には市民参加条例の一部改正を行い、新たに市民投票制度について規定を設けました。この他、市民参加推進会議を設置し、公募委員の無作為抽出など、市民参加の推進を図ってきました。</p> <p>市民意向調査の結果などから、審議会等の委員としての活動や傍聴などに参加している方の割合は6年前と比べて微増していますが、審議会等の委員の構成を見ると、参加者の年齢層に偏りがあり、特に若者の市民参加が少ないのが現状です。</p> <p>今後は、審議会だけでなく、パブリックコメントや市民意向調査等、多様な市民参加の手法の活用を図るとともに、幅広い世代、特に若者世代を中心に市民参加を推進する必要があります。若者については全国的に投票率の低さも課題となっています。</p>

3. 施策の方向性(目指す姿)
<p>市民参加条例に基づき、より多くの市民の参加が得られるよう、特に、若者の市民参加を推進するため、市民参加の機会の拡大に向けた方策を検討するとともに、市民参加条例の趣旨をいかし、多様な市民の意思を市政に反映し、市民本位の市政運営を目指します。</p>

6.進めていく主な取組

取組名 ①	市民参加制度のPR
<ul style="list-style-type: none"> 市民参加条例に基づき、市民が気軽に市政に参加できるようにするため、市民参加に関する制度や機会を積極的にPRします。 	

取組名 ②	多様な市民参加の推進
<ul style="list-style-type: none"> 市民参加の機会の拡大に向けて、多様な手法による参加の拡大などによる幅広い世代の市民参加を推進し、特に若者の市民参加を促進します。 重要政策の決定に市民の意見を取り入れるため、重要政策の明確化と併せて、市民投票条例の制定を検討します。 各種審議会・委員会などの公募枠の更なる拡大を図るとともに、計画の策定段階からの市民参加を図り、市民の意向を広く市政へ反映します。 市民サービスの在り方や地域の課題解決については、それぞれの役割を踏まえて関係者や市民と共に協議して、施策の推進を図ります。 選挙管理の充実を図るとともに、投票率の向上に努めます。 	

施策分野	市民参加・市民協働
------	-----------

1. 施策名		
No.	66	市民協働の推進

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)		
<p>平成20年に策定した小金井市協働推進基本指針に基づき、これまで職員研修等を実施してきました。また、平成24年3月に市民協働のあり方等検討委員会から答申を受けことからNPO法人派遣研修を実施するとともに、協働推進職員研修を実施する等、市内の協働意識の醸成に努めています。</p> <p>一方、市内NPO法人数やボランティア登録者数は5年前と比べて増加し、市民協働に対する機運は高まっています。</p> <p>このことから、市民協働の推進を更に図る必要があります。</p>		

3. 施策の方向性(目指す姿)		
<p>市民協働支援センター準備室の活用などにより市民協働を支える体制を整備し、市内団体・NPO・企業・大学などとの協働を推進します。</p>		

6.進めていく主な取組		
-------------	--	--

取組名 ①	市民協働を支える体制の整備	
<p>・市民活動団体などと市との協働によるまちづくりを推進するため、(仮称)市民協働支援センターを整備します。</p>		

取組名 ②	市内団体・NPO・企業・大学などとの協働推進	
<p>・市民協働推進基本指針に基づいて、市職員への市民協働研修などを実施し、対等性・自主性の尊重、相互理解、役割分担・責任の明確化、目的・目標の共有化を原則として、市内団体・NPO・企業・大学などとの協働を推進します。</p>		

施策分野	行政経営
------	------

1. 施策名	
No.	68 組織の活性化と人材の育成・活用

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)
<p>平成19年度に小金井市人材育成基本方針を策定し、小金井市が求める職員の育成のために、「意欲を高める人事制度づくり」「人を育てる職場環境づくり」「実践的な職員研修制度づくり」を進めることとしました。</p> <p>また、計画期間を平成25年度までとする小金井市人材育成基本方針実施計画を策定し、人材育成に係る各種取組を推進した結果、人事制度改革は一定の取組成果があった一方で、喫緊の課題である行財政改革や、市政課題に対する理解の不足、取組不足等の課題があり、更なる人材育成の必要性が求められるところです。</p> <p>そこで、平成26年度に第2次小金井市人材育成基本方針を策定し、これまでの人材育成の取組状況等を踏まえ、平成30年度までの人材育成における具体的な取組を推進していくこととしました。</p> <p>今後も、多種・多様な市民ニーズを柔軟かつ的確に把握し対応する必要があり、政策を主体的に形成していく能力や法務能力、さらには市民協働の担い手にふさわしい市民協働意識を身に付けることも重要となっています。</p>

3. 施策の方向性(目指す姿)
<p>これまでの人材育成の実施状況等を踏まえ、平成26年度以降は、「職場における人材育成力の向上」、「自己啓発支援」、「職員の基礎力の向上」、「業務の質的变化への対応」、「キャリア形成支援」、「組織課題・組織目標の共有化」等の基本的視点を持って人材育成の取組を推進していきます。</p>

6.進めていく主な取組
<p>取組名 ① 活力ある機能的な組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の重要課題に迅速かつ的確に対応するため、既存の部局構成にとらわれない機能性と柔軟性に富んだ組織体制の整備を進めます ・多様な行政需要に対応するため、行財政改革を推進し、プロジェクトチームの活用、部への権限移譲など組織機能の充実を図ります。 ・職員研修の充実などにより、コンプライアンス(法令遵守等)の強化を図ります。

<p>取組名 ② 人材の育成・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成基本方針に基づき、市民協働意識・チャレンジ精神・プロ意識・コスト意識を持つ職員の育成及び活用を計画的に推進します。 ・「意欲を高める人事制度づくり」として、目標管理による実績考課の導入、キャリア形成支援等を行います。 ・「人を育てる職場環境づくり」として、職場研修のための仕組みづくり、各担当課における庁内向け研修等を行います。 ・「実践的な職員研修制度づくり」として、こがねいあした研究所の活動支援等による自己啓発支援の強化、ボランティア活動や地域貢献活動の奨励を行います。
--

施策分野	計画的行政
------	-------

1. 施策名		
No.	69	計画とマネジメントの整備

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)		
<p>私たちの住む小金井市では、長期総合計画を踏まえて、課題別の計画を策定し、また実施計画を予算編成の指針とし、施策を計画的に実施しています。また、施策及び事務事業の不断の見直しを行う仕組として、施策マネジメントを実施してきましたが、制度の定着を図ることにより、効果的かつ効率的な行財政運営を進めていく必要があります。</p> <p>公共施設については、現状の施設の総量を維持したまま、安全・安心に管理していくことは困難な状況であることは明らかであり、施設更新費用等が市政運営に与える影響を抑えていく必要があります。また、新庁舎建設については、「新庁舎建設基本計画」に基づいて、財源の見通しをしっかりと立てながら、新庁舎建設を着実に進めていくため、あらゆる方策を検討する必要があります。</p>		

3. 施策の方向性(目指す姿)		
<p>将来にわたって持続可能な自律した行財政基盤の確立を図り、質の高い市民サービスを提供していくため、計画(Plan)-実施(Do)-評価(Check)-改善(Action)のマネジメントサイクルを確立するとともに実施計画の定期的な見直しを図り、より計画的・効果的・効率的な行財政運営を推進します。</p> <p>公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針やインフラ長寿命化計画を参考として、公共施設マネジメントの構築を目指します。また、新庁舎建設にあたっては、堅実な行財政運営のもと、自治の要となる「市民のための庁舎」、人や地域に「安全でやさしい庁舎」、素顔が見える「コンパクトな庁舎」の実現を図ります。</p>		

6.進めていく主な取組

取組名 ① 新庁舎の建設

・行政サービスの中核となり、市民交流の場ともなる新庁舎の建設については、蛇の目ミシン工場跡地を建設場所として、市民参加により策定した新庁舎建設基本計画を踏まえ、この中で掲げた基本理念の実現を図ります。

取組名 ② 公共施設マネジメントの構築

・インフラ長寿命化計画等を参考とし、公共施設マネジメントの基本原則の適用範囲に道路・橋りょう等のインフラ施設を加える等、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する市の基本的な方針を定めます。

・公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進の前提として市としてあるべき行政サービスの水準を検討することとあわせ、公共施設等の数・延べ床面積等に関する目標やトータルコストの縮減・平準化に関する目標などの定量化についても検討します。

取組名 ③ 諸計画の整備

・基本計画の財政的裏づけである中期財政計画に基づいて、当面する課題に対応するため、具体的な事業の事業費と事業年度を明らかにした実施計画を策定し、さらには継続的に見直しを行うことにより、事業の選択と集中を図り効率的かつ効果的な行政運営を推進していきます。

・市政における重点課題などについては、必要に応じて課題別計画を策定し、計画の実現により課題を解決します。

取組名 ④ 施策マネジメント制度の確立

・計画を着実に推進するための進行管理の方策として、施策マネジメント制度の活用などにより、実施計画の見直しや反映を迅速に行い、また予算編成につなげるなど、PDCAサイクルの確立を図ります。

施策分野	計画的行政
------	-------

1. 施策名

No.	70	広域行政の推進	
-----	----	---------	--

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

日常生活の広域化や行政需要の高度化・専門化、事務処理の効率化などに対して、事務の共同処理は、重要な行政手段のひとつになっています。私たちの住む小金井市では、消防業務を東京消防庁への委託、可燃ごみの共同処理に向けた一部事務組合の設立、一般廃棄物の最終処分など、関係機関や他自治体との広域連携による行政運営に取り組んできました。

また、災害対応の充実強化を図るため、他市町村や民間団体と災害協定を締結するなど連携に努めてきました。

今後は、限られた人材や財源といった行財政資源を効率的に活用しながら、様々な行政課題を解決するため、周辺自治体との事務の共同処理について、広域連携の組織づくり、ネットワークの構築を進めるなど、幅広く検討を進める必要があります。

3. 施策の方向性(目指す姿)

広域的に取りくむべき行政課題には、関係自治体との協力、連携を図りながら対応を進めます。

6. 進めていく主な取組

取組名 ①	関係自治体・関係機関との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・東京都市長会、武蔵野市・三鷹市・西東京市と構成する四市行政連絡協議会、多摩地域の産官学によって構成する学術・文化・産業ネットワーク多摩などを活用し、関係自治体などとの協力・連携を図りながら、広域行政を推進します。 ・生活圏の拡大に対応し、また、事業の効果・効率・実現性及び市民の利便性を高めるため、大規模震災などの災害対策、環境問題、自治体クラウドなど情報システムの共同開発・共同利用や公共施設の相互利用などについて、広域行政による推進を図ります。 	

施策分野	財政・財務
------	-------

1. 施策名	
No.	71 安定した財政運営の確立

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)	
<p>財政の健全化を示す指標となる経常収支比率は、給与構造改革・行財政改革の推進等により、人件費が減少したものの、社会保障関連経費の増加等により、平成24年度99.0%、平成25年度96.7%となり、数値は若干改善はしていますが、財政の硬直化が顕著な状況が続いています。</p> <p>また、家計で言うところの借金である、地方債の現在高については、臨時財政対策債の発行抑制により、特例債は減少しているものの、事業の進捗により建設事業債は増えています。そして、人口1人当たりの現在高は多摩26市平均を上回っています。</p> <p>さらに、家計で言うところの貯金である、財政調整基金の現在高は平成22年度をピークに減少傾向にあり、人口1人当たりの現在高は多摩26市平均の半分以下となっています。</p> <p>このように、本市は貯金が少なく借金が多いという状況であり、推進すべき施策に対して十分に財源を配分することが困難な状況です。今後、社会保障関連経費の増加、人口減少社会到来による市税収入の減少等が見込まれる中で、多額の財源を必要とする課題が山積しており、一層厳しい財政運営が強いられる見通しとなっています。</p> <p>市民意向調査においても、財政の健全化は、市の施策の中で、重要度が高く満足度が低いとの結果が出ており、重点的に取り組んでいかなければならない施策の1つとなっており、指標の早期改善が強く求められています。</p>	

3. 施策の方向性(目指す姿)	
<p>安定した財政運営の確立のために、歳入の確保、歳出の適正化を図るとともに、重点的に推進すべき施策を効果的・効率的に進めていくための事業の選択と集中を図り、中期財政計画に基づき、計画的、効果的かつ効率的な財政運営の推進に努めます。</p> <p>そして、将来世代の負担を少なくするための地方債の借り入れ抑制や計画的な基金の積立て等、将来に備えて、準備・対応を行っていける持続可能な財政基盤の確立を図ります。</p>	

6.進めていく主な取組	
取組名 ①	中長期的展望に立った財政運営の推進
<p>中長期的展望に立って、中期財政計画に基づいた財政運営を推進し、必要な財源の確保や基金の積立を図ります。</p> <p>徹底した歳入の確保及び歳出の適正化等の行財政改革の推進を図ることにより、財政の健全化を推進し、財政指標の改善に努めます。</p>	

施策分野	財政・財務
------	-------

1. 施策名

No.	72	歳入の安定	
-----	----	-------	--

2. 施策の現況と課題
(施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)

市税収入は、本市一般会計の過半を占める重要な財源です。
 しかし、高齢化などによる社会保障関連経費の増加の一方で、生産人口の減少などによる市税収入の減少も見込まれることや、景気動向(個人所得・企業収益・地価等)や税制改正なども市税収入の変動要因となることなどから、安定的な歳入の確保が求められています。
 また、市民サービスを実施するための財源として給付される国及び東京都からの補助金は、歳入の4分の1を占めているところですが、より一層の市民サービスの充実、増進を図るために補助制度の効果的な活用を図る必要があります。
 このほか、税外収入として、貴重な自主財源である受益者負担の適正化にも取組む必要があります。

3. 施策の方向性(目指す姿)

都市基盤整備などさまざまな施策による税収構造の改善、担税力の誘引など、自主財源の拡充とともに、市税をはじめとする市債権について、課税客体的確な把握や収納率の向上に努め、地方分権の推進と地方税財政制度の改善を国や東京都に働きかけていきます。

6.進めていく主な取組

取組名 ① 自主財源の拡充

- ・地方の役割が増大する中で、将来的にも持続可能な財政基盤を確立するため、法人市民税や固定資産税の増収など税収構造の改善や担税力の誘引を図ります。
- ・課税客体的確な把握に努め、先進的な取組を参考にした積極的な徴収業務の推進を図ることにより、税収確保と収納率の向上を図ります。また、納付が困難な方に対しては、納付相談を通じて、適切な対応に努めます。
- ・使用料などについて、受益者負担の原則に基づき、適正化を図ります。
- ・がんばれ小金井寄附金(ふるさと納税)など、市民からの寄附を活用します。

取組名 ② 補助金などの活用

- ・国や東京都の施策の動向を的確に把握し、積極的な確保に努め、補助制度の効果的な活用を図ります。

取組名 ③ 資産の活用と整理

- ・資産・債務改革を推進し、未利用財産の売却促進や資産の有効利用などを図ります。

取組名 ④ 地方税・地方財政制度の改善

- ・自己決定権と自己責任の拡大を図るため、地方団体への更なる税源移譲など、自主財源を中心とした歳入基盤を確立させるため、国と市町村の税源配分の適正化や現行の地方税・地方財政制度の改善について、地方分権に見合った制度となるよう国や東京都に強く要望していきます。

施策分野	財政・財務
------	-------

1. 施策名	
No.	73 歳出の適正化

2. 施策の現況と課題 (施策に関するこれまでの取組や現在の状況及び目標を達成するためのどのような課題があるか)
<p>私たちの住む小金井市は平成7、8年度に経常収支比率が全国最下位となり、財政危機に陥って以来、財政の健全化は常に強く求められ続けてきました。</p> <p>平成6年度に行政診断調査を実施して以来、第1次・第2次・第3次の行財政改革を推進し、平成6年4月から平成26年4月までに352人の職員を削減するなどの取組を続け、一定の改善が図られました。しかし、平成25年度決算においては人件費比率が多摩26市中17位となったものの、経常収支比率については、多摩26市中最低位となっています。</p> <p>また、社会保障関連経費の増加等に加え、公共施設やインフラ資産の更新費用など、多額の財源が必要となる事業が予定されています。</p> <p>今後も、更なる行財政改革を進め、中長期的な展望に立った財政運営を推進し、限りある全ての行財政資源の最大限の活用を基本とし、更なる「選択と集中」により、財政健全化を推進することが課題となっています。</p>

3. 施策の方向性(目指す姿)
<p>企業会計手法の活用や分かりやすい財政・財務情報の提供に努め、経常経費の削減や受益者負担の明確化・適正化を図るとともに、財源の的確な配分と効果的、効率的な執行に努めます。</p>

6.進めていく主な取組
<p>取組名 ① 財政指標の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政の健全化に向けて、経常経費の削減や執行管理の適正化などに努め、経常収支比率をはじめ各種の財政指標を改善します。

<p>取組名 ② 財政運営の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有限な財源を有効に活用し、効果的・効率的な財政運営を図るため、市民サービスの維持向上を目指しながらも事業コストの一層の削減を進めます。 ・負担金補助及び交付金(各種負担金、分担金、補助金など)の必要性・費用対効果を定期的に検証し、透明性を高めるための方策を検討します。 ・公会計制度・財政健全化法に基づく、連結財務書類・財政指標により、企業会計的手法を取り入れた財務情報の有効活用を図り、連結対象団体も含めた健全な財政運営に努めます。

～こがねいまちづくり カフェ～

市民懇談会テーマ(案)

1 目的

市民の方が日頃から感じている「小金井の魅力」や「未来の小金井に対する思い」を、様々な方々との交流を通じて一緒に考え、意見をいただく機会として、市民懇談会を開催する。

2 テーマ(案)

➤ 意見交換(3ラウンド)

次の3つのテーマについて、設定時間(20分から30分)ごとに各テーブルで話し合う。

(1) 小金井に住んでいて、来てみて、「小金井っていいな」と感じるどころ、「小金井らしさ」とは、どんなところですか。

⇒ 小金井の良いところ、魅力、自慢できるところなど、日頃、市民の方が感じている点について、また、小金井らしさについて、より伸ばしていきたいところ、他市に発信していきたいところについて、意見交換する。

(2) 『私たち』が望む、『未来の小金井』は、どんなまちですか。

⇒ 第4次基本構想・前期基本計画で設定されている「重点プロジェクト」で掲げられている目指すべき“まち”の姿の中で、一番望むのはどのような“まち”か、意見交換する。

(3) 『未来の小金井』のために、『私たち』にできることはなんですか。

⇒ 第4次基本構想の主体は『私たち』である。『私たち』は、「小金井市における様々な活動の主体である市、市民、団体及び事業者全体」である。

『私たち』の望む“まち”をつくりあげていく担い手の一翼である立場として、できることは何かについて、意見交換する。

➤ シェアリング

3つのラウンドが終了したあと、全体で意見の共有を行う。